



公益社団法人 いわて被害者支援センター

支援センターだより

平成29年6月30日発行

No. 18

平成29年度定時総会を開催

6月3日(土)盛岡市中央通の「エスポワールいわて」3階特別ホールで平成29年度定時総会を開催しました。

当日は、理事及び監事、正会員23名のほか、来賓として岩手県環境生活部県民くらしの安全課田中総括課長、岩手県警察本部県民課高橋課長をお招きし、細江理事長あいさつの後、来賓の皆様からご祝辞をいただきました。

次いで議案の審議に入りましたが、議案は、28年度事業報告及び収支決算、29年度事業計画及び収支予算、理事の選任の3件でしたが、審議の結果、すべて異議なく原案通り承認されました。

なお2名の理事が退任し、新たに岩手県社会福祉協議会会長の長山洋氏が理事に就任しました。

また、総会後に開催されました第2回理事会において役員改選が審議され、細江理事長、須山副理事長、阿部副理事長が、それぞれ再選されました。



挨拶をする細江理事長

■新役員名簿

役員	氏名	役職等
理事長	細江 達郎	岩手大学 名誉教授 岩手県立大学 名誉教授
副理事長	須山 通治	岩手銀河法律事務所 弁護士
副理事長	阿部 昭典	北日本通信(株)会長
専務理事	吉村 浩	いわて被害者支援センター
理事	中谷 敬明	岩手県立大学社会福祉学部 教授 臨床心理士
理事	小林 高	小林産婦人科医院 院長
理事	織田 信男	岩手大学人文社会科学部 教授 臨床心理士

役員	氏名	役職等
理事	智田 文徳	智徳会 未来の風せいわ病院 理事長 医学博士
理事	石崎 昭彦	岩手トヨペット(株)専務取締役
理事	鎌田 英樹	(株)IBC岩手放送 代表取締役社長
理事	谷藤 典男	(株)岩手日報社 編集局次長兼読者センター長
理事	長山 洋	岩手県社会福祉協議会 会長
理事	大崎 礼子	被害者遺族
監事	川村 幸子	川村税理士事務所
監事	長澤 一夫	会社顧問

日本財団預保納付金事業

当センターでは、公益財団法人日本財団が金融庁から委託を受けた平成29年度預保納付金事業の第三期初年度事業として、昨年度に引き続き「団体の自立に向けた環境づくり」のため財政基盤強化の資金調達を拡充させる活動として

① 賛助会員拡大などのファンドレイジング活動の

経費及びレンタカーの活用等

② 広報啓発活動（広報資料の作成、講演会、ラジオのスポット放送）

③ 出張相談所の開設

3事業について10,850,000円の助成を受けることができました。

財政基盤が安定して被害者や家族に寄り添った相談や支援活動が適切に推進できるよう、全力を挙げて賛助会員の拡大や支援活動に取り組んで参ることであります。

発行：公益社団法人 いわて被害者支援センター
〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-10-2 (岩手県立県民生活センター2F)

TEL: 019-621-3750 FAX: 019-613-3754
E-mail: info.niji.50@iwate-vsc.jp URL: http://www.iwate-vsc.jp

北海道、東北ブロック研修会を開催

公益社団法人全国被害者支援ネットワーク主催「平成29年度質の向上上半期研修会」が、6月22日(木)～23日(金)の2日間、当センターが当番センターとなり盛岡市内のホテルで開催されました。

研修には、北海道・東北ブロックの各センターから32名が参加し、全国の支援活動員の中から全国ネットワークに認定された4名のコーディネーターと当センターの理事でもある弁護士及び臨床心理士が講師となり、事例などを参考としながら電話相談や支援活動、他機関との連携、支援に関する法律などの研修が行われました。

また、当センターで支援活動員を希望する養成講座受講者4名もオブザーバーとして参加しました。

■研修1日目(22日)

「被害者の電話相談の特殊性」

講師 みやぎ支援センター

「被害者支援の連絡先の活用」

講師 にいがた支援センター

「直接支援の実際」

講師 千葉支援センター

■研修2日目(23日)

「事例検討会の意義と参加方法」

講師 大阪支援センター

「被害者支援に関する法律」

講師 いわて支援センター理事 弁護士

「支援者の自己理解」

講師 いわて支援センター理事 臨床心理士



受講の状況



ロールプレイングの状況

理事長から感謝状を贈呈

6月2日、細江理事長が一関市大町の衣料品・食品販売業(株)ホームズ・キリンヤ(高柳卓也代表取締役社長)統括本部を訪問し、高柳社長に理事長感謝状を贈呈致しました。

同社は、県内及び宮城県北のスーパー9店舗の自動販売機15台について収益の一部をいわて被害者支援センターへ寄付する寄付金付き自動販売機に切り替えていただいたほか、全店舗への募金箱の設置やポスターの掲示のご協力をいただいたものです。

また、同社からは、読み終えた本を回収して買い取り金を支援活動に役立てる「ホンデリング・プロジェクト」にもご協力をいただく予定です。

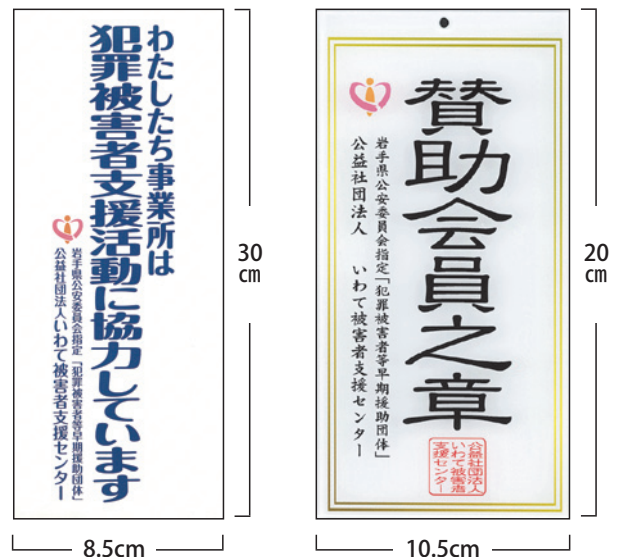


細江理事長(左)と高柳社長(右)

会員証と会員シール作成しました

いわて被害者支援センターでは、新しくアクリル製の会員証を作りました。この会員証は、裏面を張り付けるか螺子で吊り下げることができます。

また、事業所の入り口などに掲示していただくための広報シールも併せて作りました。近日中に法人会員事業所にお届けしますので活用ください。



法人賛助会員、寄付金のご紹介

（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

平成29年1月1日から6月30日まで次の企業様から法人賛助会員として新たにご入会をいただきました。
この期間中の個人会員の入会は65名でした。

新規法人賛助会員 ご入会ありがとうございました

盛岡市

- ・（一社）盛岡市医師会
- ・小松総合印刷(株)
- ・(株)平金商店

奥州市水沢区

- ・(株)佐々木紙店
- ・岩手試錐工業(株)

北上市

- ・(有)ヤマダ
 - ・伊藤建装工業
 - ・(株)東北ビルテック
 - ・(有)浅井自動車販売
 - ・(有)ライフさぼーと
 - ・(有)シティ商事
- （敬称略、順不同）

県立大学学生がホンデリングに協力

3月6日岩手県立大学社会福祉学部4年生（代表 高橋 玲さん）は、被害者支援活動に協力するため、卒業を迎える同級生に声をかけて廃棄予定の本を集めました。

これらの本は、長野市の買い取り会社に送られ、買い上げ代金は「いわて被害者支援センター」に全額寄付され支援活動に役立てられることになりました。

代表の高橋玲さんは、卒業を機に「大切な本を捨てるのはもったいないので、少しでも被害者の支援活動に役立ててもらえればうれしい。また、この呼びかけにより一人でも多くの学生が、被害者の支援活動に理解を深め

てもらえれば」と話していた。

なお、岩手県立大の学生の皆さんには、ボランティアグループをはじめ、当センターがホンデリング・プロジェクトに参加した平成25年から毎年、協力をいただいております。

寄付月間 **+α!** **年末年始**
特別キャンペーン

買取金額 **20%UP** + 書き損じはがき **50円/枚換金**

2017年12月1日(金)～2018年1月31日(水)

自動販売機による被害者支援を

当センターでは、「被害者支援寄付金付き自動販売機」

自動販売機設置のメリット

◎活動のPRができます

自動販売機には、アンダーパネルに収益の一部が寄付されることが掲載されますので、社会貢献のPR活動ができます。

この一本で
社会貢献

この自動販売機の売上の一部は「いわて被害者支援センター」に寄付され、事件や交通事故の被害者や家族をサポートする活動に役立てられます。

事件・事故被害相談電話
TEL 019-621-3751

はまなすサポートライン
TEL 019-601-3026

公益社団法人 いわて被害者支援センター



被害者支援自動販売機外観イメージ

を設置し、売上金の一部を被害者支援活動にご寄付いただける方を募集しています。

皆様のご協力をお願いします。

なお、寄付金額は設置様のご希望により決定します。メーカーやベンダーとの交渉は当センターでも行います。

本年度の主なイベント

犯罪被害者支援県民のつどい

平成29年度「犯罪被害者支援県民のつどい」を、二戸市において、次のとおり開催します。

- 日時 9月30日(土)13時30分から16時30分まで
- 場所 二戸市文化会館大ホール
- 主催 (公社)いわて被害者支援センター、岩手県、岩手県警察
- 協賛 二戸警察署、岩手県犯罪被害者等支援連絡会
- 後援 二戸市、一戸町、軽米町、九戸村、岩手日報社、デーリー東北新聞社、FMカシオペア市民情報ネットワーク
- 次第
 - ・開会セレモニー 感謝状贈呈
 - ・講演 「被害者心情への理解」～通学路で起きた事故から～
山形市在住 渡邊 理香氏
 - ・岩手県警察音楽隊コンサート



犯罪被害者支援を考える講演会

- 日時 9月14日(木)13時30分～15時30分
- 場所 エスポワールいわて2F大ホール
- 主催 (公社)いわて被害者支援センター、岩手県犯罪被害者等支援連絡会
- 講演 「誰もが被害者になり得るということ」～被害者支援について～
講師 ジャーナリスト、ノンフィクション作家 門田 隆将氏



- プロフィール
中央大学法学部卒 新潮社入社 週刊新潮副部長を経て2008年独立。
- 主な著書
山口県光市母子殺人事件遺族の本村洋氏を追った「なぜ君は絶望と闘えたのか 本村洋氏の3300日」を発表しベストセラーとなる。
「この命、義に捧ぐ 台湾を救った陸軍中将根本博の奇跡」
「死の淵を見た男 吉田昌郎と福島第一原発の五〇〇日」等、著書多数。

※入場は無料で整理券は発行しませんが、席に限りがありますのでお早めにお越しください。

犯罪被害者支援チャリティコンサート

全日本合唱コンクール金賞16回 銀賞5回、最優秀賞の文部科学大臣賞を5回と全国トップ入賞を続けるほか、今春の選抜高校野球選手権大会での国家独唱など、全国的に知名度の高い岩手県立不来方高等学校音楽部の皆さんからご協力を得て、「犯罪被害チャリティコンサート」を開催します。なお、当日は、開催の趣旨に賛同いただいた県立一関第一高等学校音楽部(50人)も賛助出演し、コンサートを盛り上げてくれることになりました。

大勢の方の入場が予想されますが、入場整理券の配布やポスターの掲示などは11月中旬頃を予定しております。

また、入場は無料ですが、来場される方には、読み終えた本をお持ちいただく「ホンデリングプロジェクトへのご協力」を呼びかけることとしております。

- 日時 平成30年1月28日(日)
午後1時30分から同3時30分まで
- 場所 一関文化センター大ホール
- 主催 公益社団法人いわて被害者支援センター
- 協賛 一関商工会議所、一関警察署、千厩警察署
- 後援 一関市、平泉町、岩手日報社、岩手日日新聞社、一関ケーブルテレビ



岩手県立不来方高等学校音楽部の皆さん